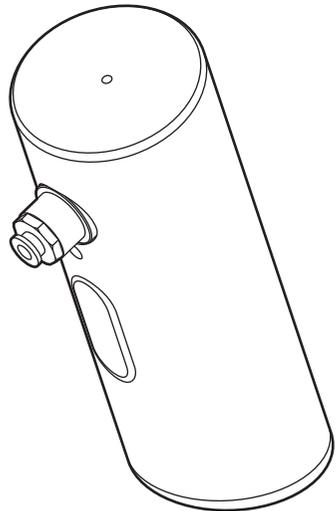


フォームソープディスペンサー SD-3100FD

取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。本紙をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも確認いただける場所に保管してください。
製品についてご不明な点は、当社「お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）」までお問い合わせください。



目次	ページ
安全上のご注意	1
各部の名称	3
使用方法	4
<ul style="list-style-type: none"> 電源の入れ方 薬液ボトルの交換/補充 薬液の吐出 	
お手入れ方法	8
<ul style="list-style-type: none"> 本体の清掃 手指センサーの清掃 ノズルの清掃 長期間使用しない場合の清掃 	
定期点検	10
故障かな?と思ったら	11
仕様	12
保証とアフターサービス	13
保証書	裏表紙
お問い合わせ窓口	裏表紙

保証書

本製品は、幾多の検査、および品質管理を経てお届けしております。お客様での正常使用の中で万一故障した場合には、この保証書記載内容にもとづき対応いたします。下記「お問い合わせ窓口」までご連絡ください。
その際には必ずこの保証書をご用意ください。
なお、この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※設置場所変更・ご移転の際には、事前に下記「お問い合わせ窓口」までご相談ください。

型 式	SD-3100FD		
製造番号	※「各部の名称」ページ参照	保証期間	(ご購入日) 年 月 日から 1年間

個人情報の「利用目的について」はこの枠内をご参照ください。

ご記入いただきました、お名前、ご住所、お電話番号等の個人情報は、保証期間内のサービス活動および、その他の安全点検活動などの為以外には利用いたしません。詳しくは、<http://www.saraya.com/privacy> でご確認ください。
お電話でのお問い合わせは、06-6797-3111個人情報担当（平日9時～17時）までお問い合わせください。

フリガナ			
ユーザー名			
ご住所	〒□□□□□□□□	都 道 府 県	市 区 郡
	TEL. () () ()	-	
	FAX. () () ()	-	
ご担当部署		ご担当者	
設置場所			

保証規定

- 「取扱説明書・本体貼付ラベル」などの注意に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理*いたします。ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地への出張対応は、出張に要する実費をいただきます。（※当社の判断にもとづく本製品の全部または一部の交換を含みます）
 - 次の場合には、保証期間内であっても保証いたしません。
 - (イ) 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障・損傷。
 - (ロ) 納品後の移動・落下・輸送による故障・損傷。
 - (ハ) 火災・塩害・ガス害・異常水圧・異常水質、および地震・雷・風水害・その他の天災地変による故障・損傷。
 - (ニ) 保証書のご提示がない場合。
 - (ホ) 保証書に未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は、明示した期間および条件のもとにおいて無料対応をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
詳しくは「取扱説明書」などをご覧ください。なお、ご不明な場合はお問い合わせ窓口までお問い合わせください。

お問い合わせ窓口 〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
サラヤ株式会社 TEL.06-6797-2525 URL.<http://www.saraya.com/>
 電話受付:平日(土日および祝祭日、弊社休日を除く) 9:00~18:00

●お問い合わせ窓口では、製品のご使用方法やメンテナンスに関するお問い合わせ、最寄りのサービス拠点のご案内を承っております。

安全上のご注意

1

ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
 ここには、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守り
 いただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	図形説明	 行為を禁止する記号です。 例:  
 注意	誤った取り扱いをしたときに軽傷、または家屋・家財などの損害に結びつくもの		 行為を強制、指示する記号です。 例:  

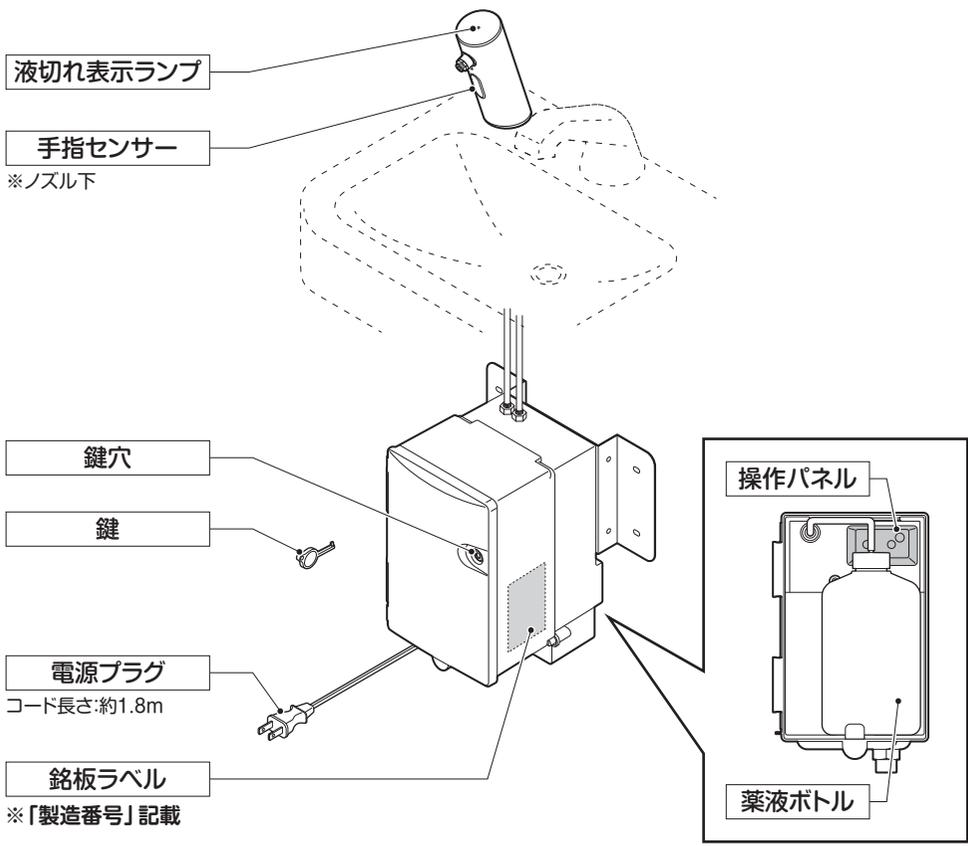
使用上の注意	
 警告	
 絶対に分解・修理・改造は行わない。 ケガや感電、故障の原因になります。 修理についてはお買い求めの販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください。	 本紙で禁止・指示した規格以外での使用は行わない。 事故やケガ、故障の原因になります。
 濡れた手で電源プラグを持たない。 感電やショートの原因になります。	 揮発性の引火物や可燃性スプレーを近くで使用しない。 引火による火災の原因になります。
 電源コードや電源プラグにいたみがあるとき、コンセントの差し込みがゆるいときなどは使用しない。 発火や感電、ショートの原因になります。	 電源コードを傷付けたり、過剰なストレスを加えたり、加熱したりしない。 火災や感電の原因になります。
 電源コードや電源プラグにいたみがあるとき、コンセントの差し込みがゆるいときなどは使用しない。 発火や感電、ショートの原因になります。	 指定する電源 (AC100V) 以外では使用しない。 火災や感電の原因になります。
 コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない。 たこ足配線などで定格を超えると、火災の原因になります。	 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込み、ほこりが溜まらないように定期的に清掃する。 火災や異常発熱の原因になります。
 異常発生時にはただちに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。 火災や感電の原因になります。 お買い求めの販売店、または当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。	 電源プラグは、電源コードを持たずにプラグ部を持ってコンセントから抜く。 電源プラグが破損し、発火や感電の原因になります。
 製品に水をかけない。 漏電による感電や火災、故障の原因になります。	 薬液の取り扱いについては、使用する薬液の注意事項に従う。 事故やケガの原因になります。

安全上のご注意

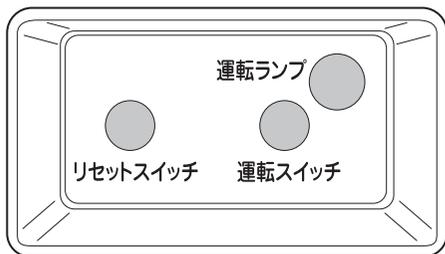
2

使用上の注意	
 注意	
 落としたりぶつかけたりして、強い衝撃を与えない。 感電や故障の原因になります。	 製品の上に物を置かない。 落下によるケガや故障の原因になります。
 薬液チューブは傷付けたり、折り曲げたりしない。 薬液チューブは慎重に取り扱い、傷付いたり折れ曲がったりする場所には設置しないでください。	 扉を乱暴に開閉しない。 故障の原因になります。
 扉の開閉時は指詰め に注意する。 ケガの原因になります。	 製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従う。
 点検や清掃のときは運転を停止し電源プラグをコンセントから抜く。 感電やケガの原因になります。	 定期点検や清掃を行う。 製品の安全および性能を保つため、定期点検や清掃作業を行ってください。
 点検や清掃のときは運転を停止し電源プラグをコンセントから抜く。 感電やケガの原因になります。	 長期間使用しないときや保管するときは以下の作業を行う。 ①薬液ボトルを空にする。 ②電源プラグを抜く。 ③製品を清掃する。 液漏れによる漏電や故障、製品や薬液の劣化の原因になります。
 タバコ、ローソクなどの火気を近づけない。 故障、変形の原因になります。	 当社指定の薬液以外は使用しない。 思いがけない事故や、故障の原因になります。
 薬液はこぼさないように装着する。 こぼれた場合はすぐに拭き取ってください。すべて転倒するなどの事故や変色の原因になります。	 製品を移動させるときは薬液を取り外す。 液漏れの原因になります。

外観



操作パネル



運転スイッチ

押すと、運転をON/OFFします。

運転ランプ

運転状態になると点灯します。

リセットスイッチ

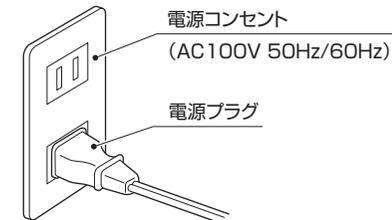
薬液切れを解除するためのスイッチです。
薬液を交換/補充したあとリセットスイッチを押すと、薬液配管内に薬液を供給して通常に使用できる状態になります。(P6参照)

電源の入れ方

電源コンセントに電源プラグを差し込みます。
(運転ランプ点灯)

注意

電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。



薬液ボトルの交換/補充

注意

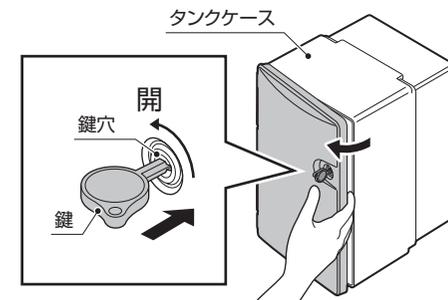
- 薬液切れの状態でも長時間放置すると、作動不良や故障の原因になります。速やかに薬液の交換または補充を行ってください。
- 薬液は常に予備を用意していただき、交換および補充の都度、お買い求めの販売店、または当社のお問い合わせ窓口までご注文ください。

【1】扉を開ける

- ①タンクケースの鍵穴に鍵を差し込みます。
- ②左に回して開錠します。
- ③扉を開けます。

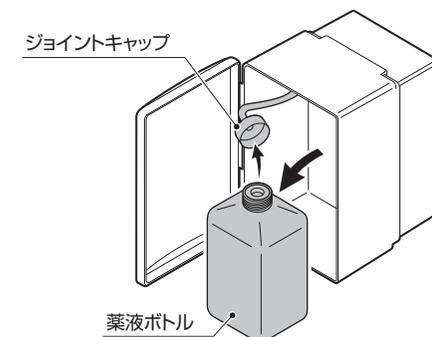
注意

- 鍵は失くさないよう大切に保管してください。
- 鍵は必要以上に力を加えると破損する恐れがあります。



【2】薬液ボトルの取り出し

- ①ジョイントキャップを外します。
- ②薬液ボトルを取り出します。

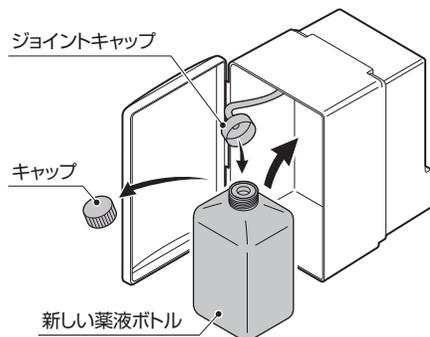


[3-A] ディスポーザブルボトル (交換タイプ)の場合

- ①新しい薬液ボトルのキャップを外します。
- ②ジョイントキャップを取り付け、タンクケースに装着します。

注意

- ジョイントキャップは確実に締めてください。
- ジョイントキャップのチューブが折れ曲がらないように注意してください。
- 薬液ボトル内にゴミなどが混入しないように注意してください。

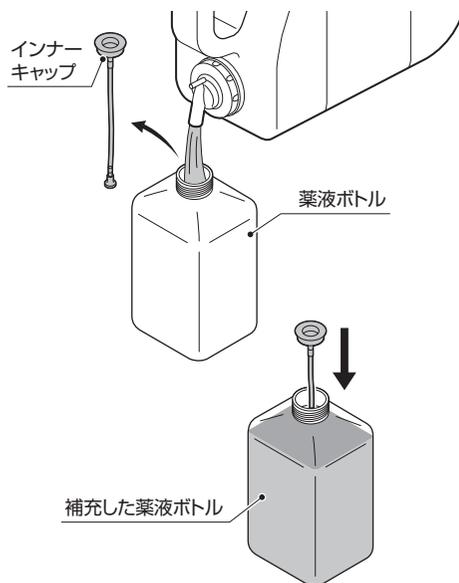


[3-B] カートリッジボトル (補充タイプ)の場合

- ①取り出した薬液ボトルからインナーキャップを取り外します。
- ②薬液を補充します。

注意

- 薬液ボトル内にゴミなどが混入しないように注意してください。
- インナーキャップは床などの不衛生な場所に置かないでください。

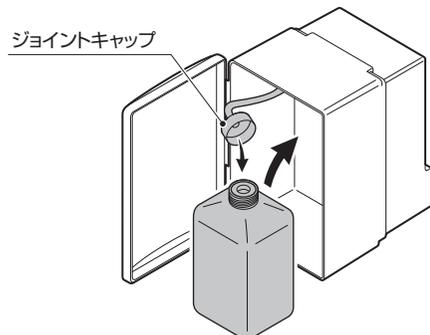


- ③補充した薬液ボトルにインナーキャップを取り付けます。

- ④ジョイントキャップを取り付け、タンクケースに装着します。

注意

- ジョイントキャップは確実に締めてください。
- ジョイントキャップのチューブが折れ曲がらないように注意してください。



[4] 薬液切れ状態の解除

リセットスイッチを1回押します。
⇒リセット運転を行います。

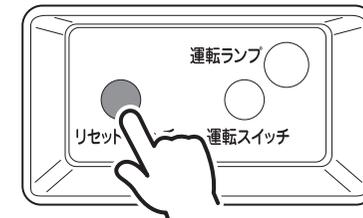
リセット運転について

約20秒間、強制的に薬液を配管内へ供給したのち自動的に停止します。

薬液が正常に供給された場合は薬液切れを解除します。

なお、リセット運転開始から5秒経過後、リセット運転中に再度リセットスイッチを押すことで停止させることができます。

その時点で正常に薬液が配管内へ供給されていれば、薬液切れを解除します。



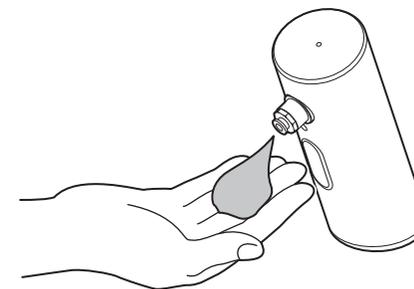
《操作パネル》

[5] 吐出状態の確認

手を差し出し、正常に吐出することを確認します。

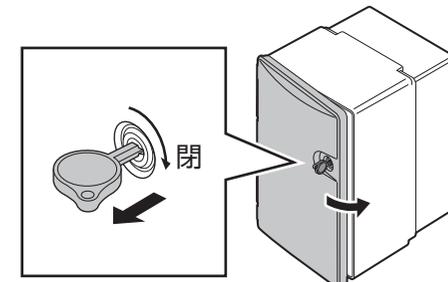
注意

- 薬液が吐出ししない場合には再度リセット運転を行ってください。
- “配管内に薬液が十分に供給されている”“薬液ボトルに薬液が十分に残っている”のに、薬液切れ状態が継続する場合は、P11「故障かな?と思ったら」の「薬液が吐出ししないとき」の項目を確認してください。



[6] 扉を閉める

- ①扉を閉めます。
- ②鍵を右に回して施錠します。
- ③鍵を抜きます。

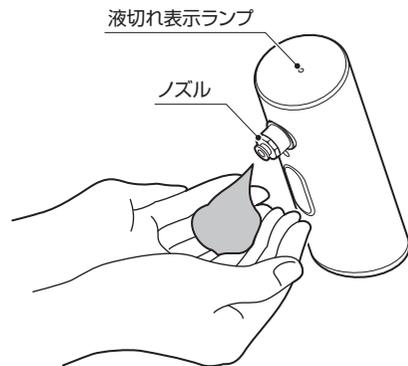


薬液の吐出

ノズルの下に手のひらを差し出します。
⇒ノズルから薬液を吐出します。

注意

- 薬液がなくなると、液切れ表示ランプが点滅します。
薬液切れのときは作動しません、薬液を交換または補充してください。(P4参照)
- 薬液は設置後すぐには吐出しないことがあります。
これは薬液がノズルまで供給されていないため、リセットスイッチを押し配管内に薬液を供給してください。(P6参照)
- 手もみしているときなど、不用意に薬液が吐出しないように、動いている手指を感知しにくくなっています。
薬液を吐出させるときは、約1秒間差し出した手を静止させてください。
- 薬液については、薬液に表記されている『使用上の注意』などをよく読んでから使用してください。



本体の清掃

本製品を末永くお使いいただくため、定期的にお手入れをしてください。
お手入れのときは、必ず電源がOFFになっていることを確認して、電源プラグを抜いてください。

汚れは乾いた布で拭き取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をふくませた布で拭き取ってください。
そのあと、水で濡らしてよく絞った布で洗剤を拭き取り、乾いた布で拭いてください。

※手指センサー部は下記の要領で清掃を行ってください。

注意

- やわらかい布を使用してください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きに従ってください。
- 次のものは使わないでください。
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・中性洗剤以外の洗剤類・熱湯・酸・アルカリ・たわしなど

手指センサーの清掃

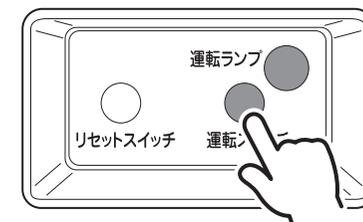
手指センサー表面に汚れがつくと、感知が鈍くなったり誤作動したりする原因になります。

以下の手順で、定期的(1か月に1回程度)に清掃を行ってください。

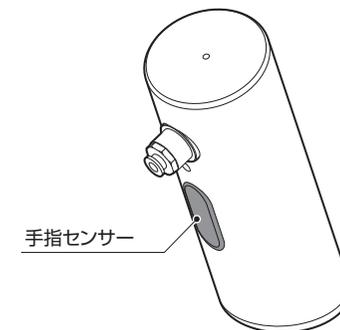
- ①運転スイッチを“OFF”にします。
(運転ランプ消灯)
- ②30～40℃のお湯を含ませた布で、手指センサー表面をかるく拭きます。
- ③運転スイッチを“ON”にします。
(運転ランプ点灯)
- ④手を差し出し、正常に吐出することを確認します。

注意

手指センサー表面にゴミや水滴、拭き取りあとが残っていないことを確認してください。誤作動の原因になります。



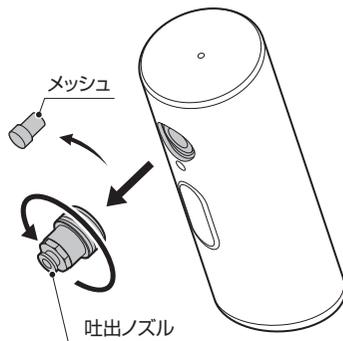
《操作パネル》



ノズルの清掃

ノズル先端に薬液やゴミが固着すると、吐出が正常に行われません。
以下の手順でノズルの清掃を行ってください。

- ①運転スイッチを“OFF”にします。(運転ランプ消灯)
- ②吐出ノズルを反時計方向に回して取り外します。
- ③メッシュを取り出し、30～40℃のお湯で洗います。
- ④清潔な布でメッシュの水気を取ります。
- ⑤メッシュ、吐出ノズルを取り付けます。
- ⑥運転スイッチを“ON”にします。(運転ランプ点灯)
- ⑦手を差し出し、正常に吐出することを確認します。

**注意**

ノズル内に異物が混入しないように注意してください。作動不良の原因になります。

長期間使用しない場合の清掃

本製品は毎日使用されることを前提に設計しているため、長期間使用せずそのまま放置すると、異物*がノズル先端や部品内部をふさぎ、作動不良や故障の原因になります。

また、薬液の腐敗、漏電、火災の原因にもなります。

以下の手順で清掃を行ってください。

※薬液が乾燥した際に発生する残留成分、固化した薬液など

- ①タンクケースの扉を開けます。(薬液ボトルの装着・取り外しについてはP4参照)
- ②薬液ボトルを取り出します。
- ③リセットスイッチを1回押し、リセット運転(空運転)を行います。
- ④空の薬液ボトルに市販の消毒用エタノール(未変性)を補充し、タンクケースに装着します。
- ⑤リセットスイッチを1回押し、リセット運転を行います。
- ⑥薬液ボトルを取り出します。
- ⑦空の薬液ボトルを用意し、タンクケースに装着します。
- ⑧運転スイッチを“OFF”にします。(運転ランプ消灯)
- ⑨電源コンセントから電源プラグを抜きます。

注意

- 薬液ボトル内の薬液をそのまま長時間放置すると、異物混入や乾燥による固着、腐敗、変性を起こす恐れがあるので、すべて破棄してください。また、空になった薬液ボトルは水洗いし、十分に乾燥させてください。
- 空の薬液ボトルは、水洗いして十分に乾燥させたものを使用してください。

安心してお使いいただくために、定期的に以下の点検を行ってください。

そのとき、もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い求めの販売店または当社「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。

半年～1年に一度

- 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていること。
- 電源プラグにほこりが堆積していないこと。
- 電源コードに亀裂や擦り傷がないこと。
- タンクケースや電源プラグ、その他の電気系統において、異常な発熱などがないこと。
- 薬液チューブに薬液漏れがないこと。

お買い求めの販売店または当社「お問い合わせ窓口」にご相談いただく前に、次の点検を行ってください。

「取」…取扱説明書（本紙） 「施」…施工説明書（別紙）

症状	原因	対処方法	ページ
正常に運転しないとき	運転スイッチが「OFF」になっている (運転ランプ:消灯)	運転スイッチを「ON」にする	取3
	電源プラグがコンセントに確実に 差し込まれてない	電源プラグを確実に差し込む	取4
	ヒューズやブレーカーが切れている	復帰させる	—
	停電している	停電が解消されるのを待つ	—
	センサー異常 汚れや障害物、周囲の光などを検知し 続けている など	●センサー部を清掃する ●障害物を取り除く ●設置場所・方向を変える	取8 施1 施1
異音がある とき	製品に物が接触して音を立っている	接触している物を取り除く	—
	据え付けた壁面が丈夫ではない 製品が確実に固定されていない	丈夫で凹凸のない壁面に確実に 設置する	施3,4
薬液を吐出 しないとき	薬液切れ(液切れランプ:点滅)	薬液を交換/補充する	取4
	ジョイントキャップが確実に締められて いない	ジョイントキャップを確実に 締める	取5
	インナーキャップを入れ忘れて いる	インナーキャップを取り付ける	取5
	ジョイントキャップとインナーキャップ の間にゴミなどの異物が混入している	ゴミなどの異物を取り除く	—
	ジョイントキャップのチューブが折れ 曲がっている	チューブの折れを解消する	—
	薬液の補充後、リセットスイッチを 押していない	リセットスイッチを押す	取6
	ノズルが目詰まりしている	ノズルを清掃する	取9

上記の点検を行っても直らないときは、ご自分で修理なさらず、下記の機能停止操作を行ってください。そのあと、お買い求めの販売店または当社「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。

機能停止操作

- ①運転スイッチを“OFF”にします。(運転ランプ消灯)
- ②電源プラグをコンセントから抜きます。

また、次の症状のときは、ただちに
運転を停止してお買い求めの販売店
または当社「お問い合わせ窓口」に
ご連絡ください。

- (1) ブレーカー、ヒューズがたびたび切れるとき。
- (2) 電源プラグやコードが異常に熱いとき。
- (3) スイッチなどの動作が不確実なとき。
- (4) 本体内部に誤って異物や水が入ってしまったとき。

項目	内容
名称	フォームソープディスペンサー
型式	SD-3100FD
外形寸法	ノズル：W43 × D85 × H120 mm タンクケース：W220 × D194 × H293 mm (小数点以下切り上げ)
製品質量	約2.5kg (梱包、付属品、薬液は除く)
主な材質	ノズル …………… SUS他 タンクケース …… ABS他 コネクタケース … PP
電源電圧	AC100V 50/60Hz (本体DC12V)
電源コード	長さ約1.8m
定格消費電力	待機時：1W 作動時：7W
使用環境温度	5～40℃ (薬液に適切な流動性が保たれていること)
使用環境湿度	20～85% (結露なきこと)
センサー方式	赤外線センサー
吐出量	約1.8g (0.6秒間)
吐出方式	液用ダイヤフラムポンプと空気用ダイヤフラムポンプの連動
ボトル容量	1L
使用薬液	「シャボネット P-5」、その他当社指定の石けん液

本仕様は性能向上のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

保証について

●裏表紙に保証書が付いています。

保証書の内容をご確認いただき必要事項をご記入のうえ、大切に保管してください。

●保証期間はご購入の日から1年間です。

なお、保証期間中でも無料保証できないことがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または当社「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

●保守部品の最低保有期間は、製造日から10年です。

保守部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。最低保有期間が経過した場合、修理が不可能になるか、可能であっても、修理費用や修理期間が保有期間内とは異なることがあります。保有期間内であっても、部品供給メーカー等の都合で、修理が不可能になる場合があります。

アフターサービスについて

●アフターサービスでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合はお買い求めの販売店または当社「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
※故障の場合は“ご購入日”“本製品の型式”“できるだけ詳しい故障状態”をお知らせください。

●転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお買い求めの販売店または当社「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。ご転居先での販売店または最寄りの当社サービス拠点を紹介させていただきます。

サラヤメンテナンスシステム

本製品のメンテナンスは、当社サービスマンがお引き受けいたします。設置された本製品は、当社にて1台ずつ資料を記録し、メンテナンス報告に基づいてご利用状況をお知らせするなど、きめ細やかなアフターサービスで、ご担当者のお手伝いもしております。

製品登録のご案内

当社では、お客様にお買い上げいただいた製品を末永く安全にご使用いただくために、製品登録へのご協力をお願いしております。

本誌または製品に記載のQRコードをスマートフォンや携帯電話で読み取るか、パソコンから登録画面にアクセスして登録してください。

登録についてのご不明な点は、当社「お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）」までお問い合わせください。

注意

製品に記載されている“型式”と“製造番号”をご確認の上、画面の案内に従って登録してください。なお、通信料はお客様のご負担となります。

スマートフォン、
携帯電話からの登録



パソコンからの登録

<http://pro.saraya.com/support/>

サラヤ サポート

検索